

2019年2月14日

各位

アリアンツ生命保険株式会社

2018年度第3四半期業績のお知らせ

アリアンツ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:加藤隆、以下「アリアンツ生命」)の2018年度第3四半期(2018年4月1日~12月31日)の業績についてお知らせいたします。

業績ハイライト

主要業績指標	
保有契約高(個人保険・個人年金保険)	1,617 億円
事業費	743 百万円
四半期純損失	△130 百万円
総資産	155,889 百万円
基礎利益	△533 百万円
ソルベンシー・マージン比率	5,135.8%

アリアンツ生命は2012年1月より保険商品の新規取扱いを休止し、弊社の保険にご加入いただいているお客さまへのアフターサービスに注力しております。2018年12月末時点でのソルベンシー・マージン比率は5,135.8%となっており、十分な保険金支払余力を有しております。

今後も強固な資本基盤を有するアリアンツエスイーの支援のもと、堅実な経営の維持に努め、引き続きお客さまのご契約をお守りしてまいります。

添付:2018年度第3四半期報告

<本件に関するお問合せ先>

アリアンツ生命保険株式会社(広報担当)

Tel: 03-4588-1505 URL: <http://life.allianz.co.jp/>

(商) 1271-190207

F2-00327-0

2019年2月14日
アリアンツ生命保険株式会社

2018年度第3四半期報告

アリアンツ生命保険株式会社（代表取締役社長 加藤隆）の2018年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	…… 1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	…… 3頁
3. 四半期貸借対照表	…… 4頁
4. 四半期損益計算書	…… 6頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	…… 8頁
6. ソルベンシー・マージン比率	…… 9頁
7. 特別勘定の状況	……10頁

以上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2017年度末		2018年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度末比	前年度末比	
個 人 保 険	1	161	1	95.1	154	95.5
個 人 年 金 保 険	23	1,764	20	86.1	1,463	82.9
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2017年度 第3四半期累計期間				2018年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2017年度末	2018年度第3四半期 会計期間末	
			前年度末比
個 人 保 険	1,349	1,284	95.2
個 人 年 金 保 険	15,217	13,677	89.9
合 計	16,566	14,962	90.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	-	-

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2017年度 第3四半期累計期間	2018年度 第3四半期累計期間	
			前年同期比
個 人 保 険	-	-	-
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	-	-	-
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	-	-

(注) 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2017年度末		2018年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	892	19.7	13,514	89.5
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-
貸 付 金	-	-	-	-
不 動 産	3	0.1	2	0.0
繰 延 税 金 資 産	-	-	-	-
そ の 他	3,629	80.2	1,587	10.5
貸 倒 引 当 金	-	-	-	-
合 計	4,525	100.0	15,104	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	126	2.8	128	0.8

（2）有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

該当事項はございません。

（3）金銭の信託の時価情報

該当事項はございません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	2017年度末 要約貸借対照表 (2018年3月31日現在)	2018年度 第3四半期会計期間末 (2018年12月31日現在)	
		金額	金額	
(資産の部)				
現金及び預貯金		4,587	15,020	
コーポレートローン		-	-	
買現先勘定		-	-	
債券貸借取引支払保証金		-	-	
買入金銭債権		-	-	
商品有価証券		-	-	
金銭の信託		5,870	5,391	
有価証券		169,908	125,630	
(うち国債)	(-)	(-)
(うち外国証券)	(3,325)	(3,193)
(うちその他の証券)	(166,582)	(122,437)
貸付金		-	-	
保険約款貸付		-	-	
一般貸付		-	-	
有形固定資産		4	3	
無形固定資産		0	0	
代理店貸		-	-	
再保険貸		72	19	
その他の資産		8,633	9,823	
前払年金費用		-	-	
繰延税金資産		-	-	
再評価に係る繰延税金資産		-	-	
支払承諾見返		-	-	
貸倒引当金		-	-	
資産の部合計		189,077	155,889	

科 目	期 別	2017年度末 要約貸借対照表 (2018年3月31日現在)	2018年度 第3四半期会計期間末 (2018年12月31日現在)
		金 額	金 額
(負 債 の 部)			
保 険 契 約 準 備 金		186,682	152,230
支 払 備 金		235	310
責 任 準 備 金		186,447	151,919
契 約 者 配 当 準 備 金		-	-
代 理 店 借 債		4	0
再 保 險 借 債		1,009	284
短 期 社 債		-	-
社 債		-	-
新 株 予 約 権 付 社 債		-	-
そ の 他 負 債		162	204
未 払 法 人 税 等		1	0
リ ー ス 債 務		-	-
資 産 除 去 債 務		-	-
そ の 他 の 負 債		161	203
退 職 給 付 引 当 金		291	273
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金		-	-
価 格 変 動 準 備 金		5	5
金 融 商 品 取 引 責 任 準 備 金		-	-
繰 延 税 金 負 債		-	-
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債		-	-
支 払 承 諾		-	-
負 債 の 部 合 計		188,155	152,997
(純 資 産 の 部)			
資 本 金		12,400	13,450
新 株 式 申 込 証 拠 金		-	-
資 本 剰 余 金		12,400	13,450
資 本 準 備 金		12,400	13,450
そ の 他 資 本 剰 余 金		-	-
利 益 剰 余 金		△23,878	△24,008
利 益 準 備 金		-	-
そ の 他 利 益 剰 余 金		△23,878	△24,008
繰 越 利 益 剰 余 金		△23,878	△24,008
自 己 株 式		-	-
自 己 株 式 申 込 証 拠 金		-	-
株 主 資 本 合 計		921	2,891
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		-	-
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		-	-
土 地 再 評 価 差 額 金		-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		-	-
新 株 予 約 権		-	-
純 資 産 の 部 合 計		921	2,891
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		189,077	155,889

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2017年度 第3四半期累計期間 (2017年4月1日から 2017年12月31日まで)	2018年度 第3四半期累計期間 (2018年4月1日から 2018年12月31日まで)
		金 額	金 額
経 常 収 益		14,154	36,041
保 險 料 等 収 入		44	1,483
(うち 保 險 料)	(-)	(-)
(うち 再 保 険 収 入)	(44)	(1,483)
資 産 運 用 収 益		14,083	2
(うち利息及び配当金等収入)	(0)	(0)
(うち商品有価証券運用益)	(-)	(-)
(うち金銭の信託運用益)	(-)	(-)
(うち売買目的有価証券運用益)	(-)	(-)
(うち有価証券売却益)	(-)	(-)
(うち金融派生商品収益)	(-)	(-)
(うち為替差益)	(1)	(2)
(うち特別勘定資産運用益)	(14,081)	(-)
そ の 他 経 常 収 益		26	34,555
(うち責任準備金戻入額)		-	34,528
経 常 費 用		14,372	36,170
保 險 金 等 支 払 金		9,391	33,354
(うち 保 険 金)	(440)	(438)
(うち 年 金)	(393)	(1,650)
(うち 給 付 金)	(793)	(26,775)
(うち解約返戻金)	(4,500)	(1,737)
(うちその他返戻金)	(-)	(6)
(うち再保険料)	(3,264)	(2,745)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		4,183	75
支 払 備 金 繰 入 額		108	75
責 任 準 備 金 繰 入 額		4,075	-
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		-	-
資 産 運 用 費 用		0	1,932
(うち 支 払 利 息)	(-)	(0)
(うち商品有価証券運用損)	(-)	(-)
(うち金銭の信託運用損)	(-)	(-)
(うち売買目的有価証券運用損)	(-)	(-)
(うち有価証券売却損)	(-)	(-)
(うち有価証券評価損)	(-)	(-)
(うち金融派生商品費用)	(0)	(-)
(うち為替差損)	(-)	(-)
(うち特別勘定資産運用損)	(-)	(1,932)
事 業 費		754	743
そ の 他 経 常 費 用		42	64
経 常 損 失		△218	△129
特 別 利 益		-	-
固 定 資 産 等 処 分 益		-	-
保 険 業 法 第 112 条 評 価 益		-	-
そ の 他 特 別 利 益		-	-
特 別 損 失		0	0
固 定 資 産 等 処 分 損		0	0
減 損 損 失		-	-
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		0	0
金 融 商 品 取 引 責 任 準 備 金 繰 入 額		-	-
不 動 産 圧 縮 損		-	-
そ の 他 特 別 損 失		-	-
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		-	-
税 引 前 四 半 期 純 損 失		△218	△129
法 人 税 及 び 住 民 税		0	0
法 人 税 等 調 整 額		-	-
法 人 税 等 合 計		0	0
四 半 期 純 損 失		△219	△130

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2018年度第3四半期会計期間末

1. 会計方針に関する事項

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券（金銭の信託において信託財産として運用している有価証券を含む）の評価は、売買目的有価証券については時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっております。

(2) 有形固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は、次の方法によっております。

- ・有形固定資産（リース資産を除く）
定率法を採用しております。

(3) 外貨建資産等の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債は、12月末日の為替相場により円換算しております。

(4) 引当金の計上方法

①貸倒引当金

該当事項はございません。

②退職給付引当金

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、企業会計基準第26号「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準委員会）に基づく小規模企業等における簡便法を採用し、当四半期末における所要額を計上しております。また、組織改変等に伴う割増退職金も併せて計上しております。

(5) 価格変動準備金の計上方法

価格変動準備金は、保険業法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(7) 責任準備金の積立方法

責任準備金は、保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の方式により計算しています。

- ①標準責任準備金の対象契約については、金融庁長官が定める方式（平成8年大蔵省告示第48号）
- ②標準責任準備金の対象とならない契約については、平準純保険料式

2. 株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	12,400	12,400	△23,878	-	921
当第3四半期会計期間末までの変動額					
四半期純損失	-	-	△130	-	△130
新株の発行	1,050	1,050	-	-	2,100
当第3四半期会計期間末までの変動額合計	1,050	1,050	△130	-	1,969
当第3四半期会計期間末残高	13,450	13,450	△24,008	-	2,891

(四半期損益計算書関係)

2018年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は514円51銭であります。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2017年度 第3四半期累計期間	2018年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	△194	△533
キャピタル収益	-	-
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	-	-
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	0	0
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	-	-
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	0	-
為替差損	0	0
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	△0	△0
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△194	△533
臨時収益	-	404
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	404
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	23	-
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	23	-
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△23	404
経常利益 A + B + C	△218	△129

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2017年度末	2018年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	2,589	4,155
資本金等	921	2,891
価格変動準備金	5	5
危険準備金	1,663	1,258
一般貸倒引当金	-	-
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	-	-
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額	140	161
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 R1	-	1
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	-	-
予定利率リスク相当額 R2	0	0
最低保証リスク相当額 R7	-	-
資産運用リスク相当額 R3	136	156
経営管理リスク相当額 R4	4	4
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	3,695.1%	5,135.8%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2017年度末		2018年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		15,634		14,284
個人変額年金保険		168,977		126,562
団体年金保険		-		-
特別勘定計		184,612		140,847

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2017年度末		2018年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	-	-	-	-
変額保険（終身型）	1	16,155	1	15,424
合 計	1	16,155	1	15,424

・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2017年度末		2018年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	23	176,301	19	136,328
合 計	23	176,301	19	136,328